

# 高原町 民生委員児童委員協議会

法定単位民児協数 | 地区

令和6年4月1日現在

基本情報	〒 889-4412					
	宮崎県西諸県郡高原町大字西麓360番地1 高原町総合保健福祉センターほほえみ館内 (高原町社会福祉協議会)					
地域紹介	☎ 0984-42-2230					
	人口	8,488 人	世帯数	4,318 世帯		
みんなでつなぐ「神武の里」水とみどりと神話が輝く健幸なまち						
<p>高原町は、宮崎県の西南部に位置しており、面積は85.39km<sup>2</sup>で東西18km、南北10kmに広がっています。西側には、昭和9年に日本で初めて国立公園に指定された霧島火山群がそびえ立っています。地形は、霧島火山の影響により起伏が多く、可住地の大半を占める平野部の標高は約170~230mの高台に位置します。</p> <p>高千穂峰など緑豊かな山々や火口湖である御池、霧島山からの豊かな自然環境に恵まれており、豊富な湧水、温泉などの大きな恩恵を受けながら発展してきた町です。また、高千穂峰は古事記における天孫降臨の舞台といわれるほか、本町は日本書紀に記された神武天皇御生誕の地といわれています。町内に点在する史跡や神社には数々の神話や伝説が残るほか、国の重要無形民俗文化財に指定された「高原の神舞（かんめ）」【祓川神楽】【狭野神楽】など、数多くの伝承行事が残されています。</p> <p>水とみどりと神話を生かした「神武の里づくり」を通して、地域資源を磨き、誰もが健康で生きがいを持ち暮らしていけるよう魅力あるまちづくりを目指しています。</p>						
						
高千穂峰頂上(天逆鉾:霧島東神社の社宝)			高原の神舞			
委員構成	民生委員・児童委員					
	現任数	31 名	定数	31 名	充足率	100.0%
	うち主任児童委員					
	現任数	2 名	定数	2 名	充足率	100.0%
	1 期目	2 期目	3 期目	4 期目	5 期以上	男性
14 名	8 名	6 名	1 名	2 名	10 名	21 名

		部会設置状況				
		総務部会	・	高齢者部会	・	母子父子部会
		児童部会	・	障がい者部会	・	生活部会
		主な活動				
		<input checked="" type="checkbox"/> あいさつ運動	<input checked="" type="checkbox"/> 登下校見守り	<input checked="" type="checkbox"/> 防災活動		
		<input checked="" type="checkbox"/> 自宅訪問	<input checked="" type="checkbox"/> 学校訪問	<input checked="" type="checkbox"/> 施設訪問・慰問		
		<input type="checkbox"/> 高齢者サロン	<input type="checkbox"/> 子育てサロン	<input type="checkbox"/> 多世代交流サロン		
		<input type="checkbox"/> 移動・買い物支援	<input type="checkbox"/> 学習支援	<input type="checkbox"/> フードバンク		
		<input checked="" type="checkbox"/> 町民生活相談所の (月2回)開催	<input checked="" type="checkbox"/> 歳末助け合い募金活動	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急連絡カードの設置		
活動 内容	<p>高原町民児協では、毎月第2木曜日に定例会を開催し、情報交換や困難事例について、委員みんなで検討する機会を設けるなど、活動しやすい環境づくりに努めています。町内の福祉施設を訪問し、美化活動を行ったり、委員全員でゲートキーパーの講座を受講しました。また、総務部会と5つの部会で構成されており、各部会で学校や施設の訪問、町内の支援体制についての勉強会を行っています。</p> <p>ひとり暮らしや高齢者のみの世帯、寝たきりや障がいなどにより、支援が必要な世帯を定期的に訪問し、毎年調査表の作成を行い、災害時の要支援者への支援活動に役立てています。この調査表をもとに、台風の影響で断水が続いた際にも、給水所に行けない高齢者宅へ飲料水(1,500箱)の配布活動を行いました。また、緊急事態に迅速に係者と連携が図れるように「緊急連絡カード」の設置活動も行っています。火災予防運動期間では、消防署職員とともに、高齢者に対する防火訪問を行い、防火意識の啓発活動に協力しました。</p> <p>毎月2のつく日は、子どもたちが交通事故や犯罪被害に巻き込まれないよう、通学路や校門に立ち、見守りや声かけを行っています。小学校で行われたボランティア活動についての授業では、子どもたちと意見交換を行ったり、委員がふるさと先生として、子どもたちに高原音頭を教え、練習しました。また、母子保健推進委員として、町内の乳幼児健診で会場内の案内や呼び出し、身体計測の補助、赤ちゃんのお世話のサポートなどを行い、参加した方が過ごしやすいようお手伝いを行っています。</p>					
						
	月1回の定例会			児童の見守りあいさ2(ツー)運動		
		メッセージ				
		<p>地域住民一人一人の考え方や環境の違いをしっかりと受け止め、傾聴することから信頼される活動を目指し、関係機関に対する“つなぎ役”として取り組んでいます。委員が一人で抱え込まないように、協議する場を設け、課題解決ができるように努めています。</p>				